



Rotary Serving Humanity  
2016~2017年度RIテーマ

例会場：ホテル ブエナビスタ／例会時間：第1・2水曜日 19:00~20:00, 第3・4・5水曜日 12:30~13:30

「お城を見つめ直す」

点 鐘 19:00 西牧会長  
司 会 S. A. A・プログラム 征矢クラブ管理委員  
斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」

6 月お祝い報告 藤田幹事  
[会員誕生祝] 中島 会員 山崎 会員



[皆出席表彰]  
22年 西川会員



会長あいさつ 西牧会長  
トランプ大統領がパリ協定からの離脱を宣言しました。長野県の病院温暖化対策委員会の副会長をしており、長野県中の病院がエネルギー対策に知恵を絞っている中でのことであり、もう一度温暖化というものを調べ直してみました。現在地球の平均気温が上昇してきており、この温暖化の原因として二酸化炭素を主とした温室効果ガスの濃度増加に因ると一般的には考えられています。

しかしいろいろな懐疑論があり、実は共和党の70%の議員はトランプ大統領のパリ協定離脱を支持しています。アメリカ国民全体でも45%の支持が得られています。日本のマスコミの報道とはやや異なる印象です。

そもそも気温上昇に対する学術的知見に対する懐疑論や、氷河融解、海面上昇、動植物の生態系変化、気象の異常等が温暖化に起因して生じるとの学術的知見に対する懐疑論があります。気温上昇しているのはどうも確からしいが、それが温室効果ガスによるものかよくわからないということらしいです。確かに炭酸ガスの赤外線吸収域、地球での飽和度などを考えると疑問があります。むしろ水蒸気の方が怪しい感じです。またこの問題が、経済的また

後進国への援助に関わる政治問題また外交問題になってしまっています。日本でもパリ協定がなくなると原子力発電の根拠が全くなくなります。五里霧中の状態になってしまっています。本当のことが知りたいですね。

幹事報告 藤田幹事

- ①木曾RC例会会場変更のご案内。  
「ひのきの里総合文化センター」より7月4日(火)から「一般社団法人木曾人 ねざめ亭」に移転。  
〒399-5607 木曾郡上松町大字上松寝覚2409。  
電話0264-24-0116。
- ②本日例会終了後、次期クラブ協議会開催。

出席報告 中島クラブ管理副委員長  
会員総数 21 名 (内出席規定適用免除欠席者 3 名)  
本日の欠席者 3 名 (他 2 名は事前メイキャップ済)  
出席率 83. 33%  
前々回(5/24)修正欠席者 3 名 出席率 83. 33%

ニコニコボックス報告 中島クラブ管理副委員長  
会員誕生祝 ◇暑かったり寒かったり、ダンスの中はぐちゃぐちゃです。いつ衣替えをしたら良いか？季節感がなくなって来ていますね。山崎君 ◇いよいよ梅雨入りです。梅雨があつてホッとしています。やはり季節を感じることができることは嬉しいものです。中島君

皆出席表彰 ◇梅雨入りとは今日みたいな雨模様が続くのかな？西川君

その他のコメント ◇今日から「梅雨入り」。5月に雨が少ないと沢山降るそうです。西牧君 ◇雨のせいか混んでましたね。藤田君 ◇中島さん、山崎さん、西川さんおめでとうございます。丸山君 ◇卓話です。よろしく！顔がこわれてしまいました。塚本君 ◇前回例会の井筒会員即興演奏は見事でした。我が社の演奏者も楽しませてもらいました。宮坂君 ◇先日の音楽セラピー、楽しく見学させていただきました。ありがとうございます。児野君 ◇いよいよ梅雨入り。穏やかでありますように。上條君 ◇このあと「その他の委員会」からの連絡において登場しますので、ご協力申し上げる次第です。田内君

配布資料；「Rの友6月号」「G月信6月号」「幹事報告」「会報No.41・43」「卓話資料」「信州まつもと利用促進協議会パンフレット」

回覧資料；「岡山城RC季報No.90」「岡山城RC会報」

## ～ プログラム ～

### 《会員卓話》「私と松本城」 児野登会員

私は木曾に生まれていまずので、松本城に日々接していることはありませんでした。ただ私の母の実家が松本の下馬出（今の上土）でカメラ屋を営んでいましたので、小学生のころ、年に1, 2回遊びに来ていました。当時の交通機関は、蒸気機関でトンネルに入ると窓を閉め石炭のすすが車内に入らないようにするのですが、それでも大きなすすが目や口に飛び込んでくるため、手ぬぐいで顔を押しさえたものでした。また、松本に来る途中に鳥居峠があり、そこが木曾川と奈良井側の分水嶺で、峠の水はそれぞれ、太平洋側と日本海側に川を流れて達しています。よく電車の中で騒いでいると母や祖母が「言うことを聞かないからまた福島のほうへ戻ってるよ」といって川の流れが逆になっているのを指摘され、これはまずいと思い静かにしたものです。さらに難関はまだあります。汽車はいよいよ塩尻に着くわけですが、ここでも中央西線から篠ノ井線に電車が進むと機関車が今来た客車の最後尾に連結され、本当に進行方向が反対側になるのです。そこで本当にお行儀が良くなり晴れて松本の駅に着くのでした。

松本の街は華やかで人も溢れんばかり、特に上土や緑町近辺しか歩きませんでしたが、人にぶつかりぶつかり進むので、すぐ迷子になりそうでした。そして皆様と同じように松本城の西側にある遊園地に祖母が連れて行ってくれ、おサルの電車などに乗って楽しんだのを僅かですが覚えています。

松本城での本当の思い出は、木曾福島から松本へ出てきて高校3年生になるまで待たねばなりません。

◇次頁【城郭建築としての松本城】

【天守とその構造】参照

高校生活も卒業式を迎えるだけとなったころ、以前合コンをした中の1人の女の子から、松本城で会いたいと言う手紙をいただきました。今で言うデートですが、当時の私は普通に人にお会いすると言う感じでした。でもその時の情景はすごく客観的な情景として記憶に残っています。いつかの青春映画のように、将来のことを話したんだと思います。お城の土手に2人並んで座り、鮮やかな朱色の月見櫓と大天守を見ながら語り合う2人の情景。昔の思い出は美しいものです。

### 《会員卓話》「私と松本城」 塚本建三会員

私にとって松本城は健康づくりのための歩く目標です。居宅から1.5kmくらい、お濠をぐるっと一回りを加えると2km、往復だと4km歩けます。帰り



に駅前の店や、伊勢町方面に寄ったりすると、5kmはゆうに超えます。美しいお城のたたずまいや、遠方のアルプスの山々を見ながら歩くのは楽しく良い運動になります。それに、普段は「飯」「風呂」「寝る」の会話程度しかない女房との話をするのできる良い機会でもあります。

もちろん、石川数正と徳川家康、豊臣秀吉との人間模様、激変する天下の情勢に翻弄される石川家。変転極まりない世の中を見てきた国宝、松本城は歴史の証人だけにすごく愛着を感じます。少し横道にそれますが、天下の情勢は柴田勝家の滅亡により、圧倒的に秀吉有利に傾き、天下様のレベルになったとはいえ、まだ徳川は臣従していなかったときですから、石川数正の出奔は徳川にとっては大事件であった。石川数正は徳川家康が大阪城へ送り込んだ間者役だったと言われているが、しかし、家康の深謀遠慮により送り込んだことをほかの家臣に知られてはならず、裏切り者として扱い、徳川方の兵制度を根本的に変更したと言われています。

松本城の代々城主や諸々の出来事は、会長はじめ皆さんから伺って、大変勉強になりました。

松本城を世界歴史遺産にという気持ちはわかりませんが、去年秋、彦根城を見学してきました。壮大な規模といい見応えといい流石、世界遺産にふさわしい威容を備えていました。松本城は天守閣の佇まいは美しいし、借景としての北アルプスとのコントラスト、コラボレーションは松本城の最大の強みだと思います。

お濠を復元したり、周辺を整備すれば、今よりはましになると思いますが、市の対応は後手後手に回っているとしか言えないことが残念です。

その最たるものが、建物の高さ制限です。周囲にマンションがほとんど立ってから、高さ制限を実施したので、必要な建物さえ立たなくなる愚を犯しています。

まったく意味のない規制です。高さ制限をするならもっと早く、マンション林立の前に、女鳥羽川までの高さ制限を実施し、女鳥羽川以北には高いマンションは立たなくすべきだったと私は考えます。如何でしょうか。

世界遺産は無理としても、松本市へ観光客を誘致する努力はもっとすべきだと思います。

松本市長は、観光客誘致にはあまり積極的でないような気がしてなりません。今は国家が挙げて海外観光客を誘致しようとしている時代です。この状況にあって単に成り行きに任せているようでは、誠にもったいないとしか言えないと思います。松本空港の国際空港化や、飛行機を使った観光客誘致を進める長野県とのタイアップも前向きではないようです。確かに外人を見かけることは多くなっていますし、成り行きに任せておいてもおこぼれは入ってくるでしょうが、観光と農業くらいしか見るべき産業の無い松本の対応としては残念だと私は考えます。如何でしょうか。少子高齢化が加速度的に進む我が国を考えると、観光立国は国是とっていいと思いますし、早く強力に取り組んだものが勝者となることは間違いのないところだと考えます。強力なリーダーほしいな～。

点 鐘 20:00

西牧会長



## 【城郭建築としての松本城】

### 1. 城の全体像

松本城天守群は、大天守(だいてんしゅ)・乾小天守(いぬいこてんしゅ)・渡櫓(わたりやぐら)・辰巳附櫓(たつみつけやぐら)・月見櫓(つきみやぐら)の五棟で形成されています。大天守と乾小天守を渡櫓によって連結し、辰巳附櫓と月見櫓が複合された連結複合式の天守です。

### 2. 櫓(やぐら)とは

室町以前は、「高櫓」(かたやぐら)や物見のための「井楼」(せいろ)と呼ばれる簡易な建物を建て、城の防御を行っていた。また、監視するために用いられる櫓を物見櫓(ものみやぐら)といい、弥生時代にはすでに建てられ『魏志倭人伝』には、「楼観」という記述が見られる。同時期の遺跡と考えられている吉野ヶ里遺跡では物見櫓と見られる掘立柱建築の跡が出土している。

また、武具や生活道具なども保管する役割もあった。そのため、「やぐら」の字には「矢蔵」「矢倉」ともあてられる。

戦国時代末期からは城郭内に防御や見張のため石垣や土塁の上に建て、攻め手への攻撃と防御を行なった。江戸時代までには、鉄砲などの銃器の導入に伴い、より頑丈な建物が設置され、通常の窓のほかに攻撃用の小規模な開口を複数箇所設けられた。

### 3. 用途による種類

- 櫓は戦時の防御機能の他、物資を貯蔵する役割があった。
- 太鼓櫓(たいこやぐら)・鐘櫓(かねやぐら)は、音により時を知らせたり、戦いの合図のために建てられ、現存例は姫路城・松山城にある。
- 富士見櫓(ふじみやぐら)富士山を眺めるための櫓とされる。
- 月見櫓(つきみやぐら)は、その名の通り月見を目的とした櫓で、城の東側に造られることが多い。岡山城や松本城などに現存例がみられる。

### 4. 貯蔵物に由来する名の櫓

- 兵糧  
塩櫓(しおやぐら) - 塩を備蓄した(姫路城・津山城など)
- 方位  
櫓の建つ位置・方位に由来する名称が付けられた櫓。丑寅櫓・辰巳櫓・未申櫓(弘前城)など。
- 地名・移築  
国名や地名に由来する名称が付けられた櫓。日比谷櫓(江戸城)がある。

### 5. 国宝の櫓

松本城 - 渡櫓、辰巳附櫓、月見櫓(天守付属の建築群の内)

彦根城 - 附櫓及び多聞櫓(天守付属の建築群)

姫路城 - イ・ロ・ハ・ニの渡櫓(天守付属の建築群の内)

### 6. 重要文化財(国指定)の櫓

姫路城 - 帯櫓など27棟

彦根城 - 天秤櫓、西の丸三重櫓及び続櫓、太鼓門続櫓、二の丸佐和口多聞櫓

二条城 - 東南隅櫓、西南隅櫓 他

### 7. 月見櫓を持つお城・松本城

松本城の「月見櫓(つきみやぐら)」は、世界で唯一無二の三方開放型の月見櫓で雅な姿を現しています。舞良戸(まいらど)をはずすと、北・東・南の三方が開放され、天井は船底天井で木部には柿渋が塗られ赤みを帯びています。最大の特徴は周りに巡らされた朱色漆の欄干で、優雅な雰囲気醸し、開放的な造りで、見るからに江戸後期の泰平な世の建築であることを感じさせます。

この月見櫓は、松本城主松平直政(家康の孫)によって、寛永年中1633年に、三代将軍家光を迎えるために「辰巳櫓」と共に増築されたと言われています。現存する城郭建築の中で、月見櫓をもつのは岡山城と松本城ですが、天守と一体となった優雅な造りは、松本城だけです。

## 【天守とその構造】

国宝に指定された大天守・乾小天守・渡櫓・辰巳附櫓・月見櫓の五棟



松本城天守群は、大天守(だいてんしゅ)・乾小天守(いぬいこてんしゅ)・渡櫓(わたりやぐら)・辰巳附櫓(たつみつけやぐら)・月見櫓(つきみやぐら)の五棟で形成されています。大天守と乾小天守を渡櫓によって連結し、辰巳附櫓と月見櫓が複合された連結複合式の天守です。これらの天守群は、昭和4年(1929)に制定された「国宝保存法」により、昭和11年(1936)4月20日国宝に指定されました。